

第一号議案

2014年度活動結果報告

総括的な活動結果

NALC「天の川クラブ」設立 20 周年の記念事業に向けてひたすら邁進した年となりました。

6 月の設立 20 周年記念総会・式典及び記念誌の発行を通じて、設立当時から
の諸先輩のご努力で、今日のあることに感謝の念を強く感じました。

10 月実施の記念イベントは、全員参加型を合言葉に各地区・各部の出し物で
楽しみましたが、数か月にわたる練習により、会員同士の絆の深まりを実感し、今
後のナルク会員相互扶助活動につながるものと確信いたしました。

2015 年 1 月には一般財団法人こども未来財団とナルクの主催で、一般市民を
対象に「子育て支援者向け大規模研修会」を大阪府・大阪府社協・枚方市・枚方
市社協・枚方市民活動支援センターのご後援をいただいて開催し、関係機関との
連携を強めることができました。

1. 会員増加推進委員会は、2011 年度から取り組み、ガイドブック 6,000 部作成、
ゼッケン・ブルゾン・キャップはイベント会場において PR 活動に活用しました。
広報ひらかた・ひらかた便利帳などに募集記事の掲載、FMひらかたに 3 回
出演し、会員増加の広報活動に努めましたが、微増にとどまっております。
期待していた団塊世代の入会は、社会的状況の変化もあり厳しいものになり
ました。
2. 地区会は、記念イベントを契機に各地区活発な展開を見せています。地区に密
着したサロンも拡がりを見せております。
3. 東日本大震災被災地支援として、5 月に宮城で開催された本部の創立 20 周
年記念総会に 53 名が参加、被災地での支援活動に加わりました。
本年 2 月にはナルク宮城拠点へ義援金、並びに仮設住宅で必要とされる品
をお届けしました。今後も支援を続けていきます。
4. 行政機関とは、事業活動やイベントを通して連携を深めることができました。

※ 2014 年度に実施しました主な活動内容と実績は、別表 1 を「時間預託活動」と
「奉仕活動」は、別表 2 をご参照ください。

1. 時間預託活動

担当 近藤秀子・蕎麦谷東造

会員相互扶助活動は、ナルク活動の大きな柱の一つです。住み慣れた地域で、
会員同士が助け合い、支えあって暮らすことを目指します。

(1) 会員相互扶助活動

家事介助支援活動は、計画にたいし 84%と未達でした。利用がしやすくなるよ
うなシステムづくりが必要です。加えて提供者の発掘も急がれます。

庭の手入れは、2013 年度より地区単位での草引き・水やりや樹木の剪定・消毒などの提供活動を行っていますが、活動は低調でした。

ハウスヘルパーは、専門的スキルを要する作業にも、迅速な提供活動を心掛けた結果、当初計画を上回る実績となりました。

送迎は、外出・移動の困難な会員への支援を通じて、利用者の生活の質を高める事を目指して活動しましたが低調に終わりました。

パソコン指導は、OS のバージョンアップなどで、買換えによる初期設定、トラブル対応、スポットサポートなどの増加により計画を上回る実績となりました。最近では電話による相談や遠隔操作による指導も増加しつつありますが、預託活動の点数には反映されていないので、今後の検討課題とします。

(2)福祉施設活動

植本壽満枝

NPO 法人として、福祉施設活動を通して地域社会に貢献し、会員自身の生きがいにもつながる大切な活動と捉えて実施しました。「サンセール香里園」、「エイジフリー・ライフ星が丘」とともに、活動内容に於いては大きな変化はないものの、「サンセール香里園」では、後半から「囲碁」、「買い物」の新規活動が増え、活動がやや増加しました。反面、「エイジフリー・ライフ星が丘」では、会員の高齢化に伴い、提供者が減少傾向にあり、担当者は苦慮しています。

2. 奉仕活動

担当 植本壽満枝・東平守弘

福祉施設・子育て支援・環境美化は、前年の課題であった提供者不足が新入会員の参加者が増えたことが大きな要因で、「天の川クラブ」初めて 12,000 時間を超えることができました。

(1) 福祉施設

「サンポエム」、「エイジフリー・ライフ星が丘」、「ひらかた聖徳園」、「北デイサービス」、「エバーライフ御殿山」、「その他福祉施設」で、施設利用者との交流を通して、高齢者・障害を持った方々への理解を深め、地域社会に貢献すると共に、会員自身の生きがいを見つける有意義な活動として実施しました。活動内容は、日常的な配膳、下膳、季節的なイベント、新規の活動としてハンドマッサージも取り入れ、取り組みました。特に文化部・同好会の活動者が増え、喜ばしい傾向となりました。

(2) 子育て支援

親子広場では、交通機関の不便さもあり、今年度も提供者不足となりました。

(3) 環境美化

クリーン&ウォークは、今年度は雨で中止になりましたが、天野川清掃と枚方・楠葉の公園清掃では、参加者が増え、また 2015 年 1 月から新しく「けやき通り」の清掃も増え地域の環境美化活動に貢献しました。

(4) その他外部活動

「青色防犯パトロール」は、登録車の乗換で活動が一部休止となり計画を大幅に下回りました。

3. 事業活動

担当 和田亮吉

本年度も枚方市から3事業を受託し、市民を対象とした活動を実施してきました。

- (1)「在宅生活援助受託事業」は、市民への家事支援でNALC「天の川クラブ」以外の事業者が本年も参入してきたことにより、計画300時間に対し実績 237 時間と大幅な減少となりました。
- (2)「生きがい創造学園受託事業」は、今年度から責任者が交代しました。講座が新たに 1 講座増加し、又 2 講座が定員数を 25 名から 30 名に増加しました。今年度は、開設20周年を記念して10月の総合講座のイベントで登山家・田部井淳子氏の講演を盛大に行いました。
- (3)「生涯学習情報プラザ受託事業」は、きららの施設維持管理と市民へのパソコン指導を行っています。9年間実施してきたパソコンの基本ソフトを9月から更新したことにより、ミニ体験の受講生が前年に比べ84%と減少しました。おもしろパソコン教室は、横ばい。デジカメ写真取り込み体験は、常に満席で実施できました。

4. 文化・スポーツ活動

担当 梅田壽雄

今年度も着実な活動が展開されましたが、全般的に高齢化に伴う参加者の減少は避けがたく文化・スポーツ部門の参加人員は昨年度をやや増加の2,520 名となりました。『遊びの玉手箱』、マジック友の会、オー・ジーンズ部は、小学校や地域の子育て、福祉施設への訪問等継続的な奉仕活動に取組み地域への貢献に寄与しました。また、20周年記念イベントでは、各部が日頃の成果を発表し、楽しい一日を盛り上げました。

一方、もっとも伝統ある「川柳」「竹遊会」が高齢化と参加者の減少により活動が困難となり残念ながら廃部となり、文化・スポーツ部は10グループとなりました。

同好会活動は、活発であま卓球楽友会と絵手紙の2グループが立ち上がり 11グループとなりました。

「ふれあいルーム」のギャラリーは、会員の絶大な協力により毎月途切れることなく続いています。

5. 会員活動促進

担当 山田 徹

会員活動促進は、会員の活動をスムーズに進めるため次の事項を推進しました。

- (1)地区会：今年度も地区会の「内容の充実」を図りました。
 - ① 地区会と親睦会との違いについて、一定の理解が深まってきました。
 - ② 合同地区会の実施は出来ませんでした。
 - ③ 地区担当運営委員及び世話人代表者会議は、実施しましたが不十分でした。

(2)会員研修

会員研修は、ボランティアとしての必要な知識と技能の向上を図るため、「シニア生活・介護支援サポーター研修」「コーディネーター養成講座」「新入会員研修会」を行い会員からは、一定の評価を得ました。

(3) イベント

イベントは、ナルク本部及びNALC「天の川クラブ」が20周年の節目を迎え、記念行事を行いました。

20周年記念行事として、5月に宮城県にてナルク本部主催の「20周年記念総会」、6月に「天の川クラブ」20周年記念定時総会・式典、10月に「20周年記念イベント」を行い、その他に会員相互の親睦を図るため「日帰りバス旅行」を行いました。

(4) 活動区分別交流会

時間預託活動、奉仕活動等の各分野で活動している会員が連携と情報交換を行うための場です。

今年度も各リーダーに対して、情報交換・コミュニケーション・親睦の場として、実施計画に基づき積極的に開催するよう勧めて来ましたが、当初の計画に対し、50%程度と少ない結果となりました。

(5) 誕生月会

誕生日を迎えられた会員に対し、2013年4月より「誕生月カード」をお届けして2年となりました。多くの方々よりお礼のお言葉を頂きました。

6. 事務局活動

担当 和田亮吉

- (1) 会員管理業務・入力業務・手配り業務等事務局スタッフのスキルアップにより事務処理もスムーズにいききました。
- (2) 広報活動については、「ひらせんナビ」「枚方市便利帳」「FMひらかた」などに参画いたしました。
- (3) 設立20周年にあたり、多くの行事が企画され関係者との連携や印刷業務が多く、繁忙感がありました。